

## 第1回ワークショップから生まれた「暮らし」(案)

第1回WS「住環境;暮らし方、塩竈の好き・嫌い」の結果から、以下のような「暮らし」化を行いました。今後、このような暮らし化を進めていき、全6回のWSを通じて「暮らしのカード」を「100枚」作って行きます。

第1回WS「住環境;暮らし方、塩竈の好き・嫌い」から生まれた暮らし(案)	
暮らしのタイトル	解説
町の空き家を生かす暮らし	街中に残る古い住居はきれいにリフォームされ、子育て世代の夫婦が住んでいる。近くの商店におつかいに走る子供たちの姿が日常的に見られる。
おいしい水がある暮らし	水道から流れる良質な水を使って、自宅でおいしい食事。乾いた喉を水道水で潤す市民が多く、清涼飲料水が売れない町になった。
浦戸の自然の中で休日過ごす暮らし	休日は浦戸へ行き、野々島のツバキや朴島の菜の花などに癒やされながら歩く。疲れたら島のカフェで一休み。船で気軽に島を訪れて休日過ごす市民の姿が見られる。
船が身近にある暮らし	浦戸や松島、宮戸島などへの移動手段として、日常的に船を利用する。松島湾には多くの釣り船が浮かび、親子連れなどが釣りを楽しむ。自分で操船する人の姿も見られる。
近所に行きつけの店がある暮らし	地域には個人経営のさまざまな店があるので、たいいていの買い物は徒歩圏内で済ませている。店主も客も同じ地域の住民。毎日の買い物の中で信頼関係が生まれている。
みんなが休む日がある暮らし	地域の商店がすべて休みの日があり、誰もがのんびり暮らす。地域の祭りやイベントは休みの日に開催され、商店主や地域の子供たちが参加して賑やかになる。
障害のある人もゆっくり道を歩ける暮らし	歩道の段差がないので、高齢者や障害のある人が歩きやすい。ところどころにひと休みできるベンチがある。幹線道路以外は自動車の往来が少なく、安心して歩ける。
家の前の道で子供たちが遊ぶ暮らし	家の前の道に、地域の子供たちが集まって遊んでいる。周辺に住む大人たちが見守る中、子供たちは、遊びを通じて世代を超えた関係性を築いている。



## 第2回ワークショップ開催

【開催日 | 令和2年11月26日(木)】

塩竈市では、まちづくりの方向性を描く新しい総合計画づくりを進めています。自分たちや子どもたちの世代が暮らしやすいまちに向かって、未来の100の暮らし方を考えるワークショップ(以下、WS)を開催しています。このWSは総合計画では表現しきれない定性的な話し合いを進めています。

第2回のWSを開催しました。暮らし方に向けて様々な意見交換が行われました。この通信では、各回生まれたアイデアである「暮らしのカード」を広く共有する意味合いを込めて配布しています。



## “暮らしのカード”の作り方

WSでは各回テーマを設け、そのテーマに対する意見交換を行っています。そこで出た意見を“暮らしの「種」”とし、最終的には「～な暮らし」として整理しています。

第2回は「子育て・教育」をテーマに、副題を「多世代で守られ、愛され、慈しまれる子供の暮らし」として意見交換を行いました。体験、多世代交流、異文化交流、など様々な意見交換が行われました。

### WS中に出た“暮らしの種” 第2回WS「子育て・教育;多世代で守られ、愛され、慈しまれる子供の暮らし」

- ・動物、植物、虫等に触れる(ビオトープ)場に
- ・命の大切さを話し合う
- ・ベビーカーに優しい町だと良い
- ・生き物に触れる(命を学ぶ)
- ・地域で、家族で、みんなでイベントに参加
- ・本町でデートする。淡い思い出のある～
- ・生涯学習課で行なっている「体感団」ととても良い
- ・勉強しやすい環境作り
- ・質問しやすい環境づくり
- ・親子で過ごせる施設自然、市民農園
- ・園庭のある保育所で土にふれ、のびのびと
- ・地域で見守る、交通安全、防犯、遊びの伝承
- ・異質の人を受け入れる教育

## 今後の予定

各回テーマを変えながら、WSを展開していきます。テーマごとに詳しく話し合っていたきたい内容について、副題を設けています。副題はあくまでも仮で、会の様子で今後変更する可能性があります。

回	日にち	テーマ案 / 時間 19:00 - 21:00	回	日にち	テーマ案 / 時間 19:00 - 21:00
3	12/17(木)	食・産業 「(仮)二十四節気の暮暮らし」	5	1/28(木)	歴史・文化 「(仮)趣がまず塩竈の暮らし」
4	1/14(木)	福祉 「(仮)100歳まで働ける塩竈暮らし」	6	3/18(木)	編集会議 「100の暮らし」を整える

<p>長期総合計画や未来の100の暮らしワークショップについては右記へお問い合わせください。</p>	<p>【お問い合わせ先】 〒985-8501 塩竈市旭町1-1 市役所本庁舎2階 塩竈市市民総務部政策課総合計画策定室 担当:引地・石川 TEL:022-355-5284 FAX:022-367-3124 E-mail:soukei@city.shiogama.miyagi.jp</p>
--	--

ワークショップで生まれた“暮らしのカード”

WSの最中に生まれた「暮らし」をご紹介します。今後もテーマに沿って「これからの暮らし」を考えていきます。

体験を通じて「塩竈の良さ」を知る暮らし

暮らし XXX B

イメージ | 想像して描いてみる。  
小野さんの顔を例え。

タイトル **体験を通じて、「塩竈の良さ」を知る暮らし**

解説 | 文化的・歴史的・産業施設を利用した体験を通して、「塩竈への愛着」を深め、その過程で、幅広い年齢の「暮らし」の取組を深めていく。

具体的な暮らしの取組 | 何人でもできることか  
取 規 人

自然が豊かな公園で  
三世代で安心して楽しめる暮らし

暮らし XXX G

イメージ | 想像して描いてみる。  
小野さんの顔を例え。

タイトル **自然が豊かな公園で三世代が安心して楽しめる暮らし**

解説 | 大人も子どもも安心して楽しめる公園。子どもが自由に遊んだり遊ぶと奥手な大人も「楽し」そうに楽しみたい。

具体的な暮らしの取組 | 何人でもできることか  
取 規 人

給食で地元の食材を  
味わう日常がある暮らし

暮らし XXX F

イメージ | 想像して描いてみる。  
小野さんの顔を例え。

タイトル **給食で地元の食材を味わう日常がある暮らし**

解説 | 大人も子どもも「あつ給食は美味い」と話題になった。お昼（本校給食）で地元産の魚、お茶（お茶会）。

具体的な暮らしの取組 | 何人でもできることか  
取 規 人

放課後子どもたちの笑い声が響く暮らし

暮らし XXX F

イメージ | 想像して描いてみる。  
小野さんの顔を例え。

タイトル **放課後 子どもたちの笑い声が響く暮らし**

解説 | 地域に子どもたちが安心して集える、見守りやすい公園が子どもたちが安心して行ける場所がある。

具体的な暮らしの取組 | 何人でもできることか  
取 規 人

地域みんなでたろみこしをつくり、町内へくり出す暮らし

暮らし XXX A

イメージ | 想像して描いてみる。  
小野さんの顔を例え。

タイトル **地域みんなでたろみこしをつくり、町内へくり出す暮らし**

解説 | 子どもも大人も地域みんなでイベントに参加し、楽しんでいる。

具体的な暮らしの取組 | 何人でもできることか  
取 規 人

子どもがどんな人にも  
塩竈の良さを伝えることができる暮らし

暮らし XXX E

イメージ | 想像して描いてみる。  
小野さんの顔を例え。

タイトル **子どもがどんな人にも塩竈の良さを伝えることができる暮らし**

解説 | 他地域や外国人にも塩竈の歴史や良さを伝える事が出来る。

具体的な暮らしの取組 | 何人でもできることか  
取 規 人

世代、地域、言語を超えた交流 10人  
自分のまちに関心をもち、発信

歴史・芸術・文化を  
感じられる暮らし

暮らし XXX D

イメージ | 想像して描いてみる。  
小野さんの顔を例え。

タイトル **歴史・芸術・文化を感じられる暮らし**

解説 | 塩竈神社やキネ俳句、寿司の博物館などに触れる。

具体的な暮らしの取組 | 何人でもできることか  
取 規 人

外国人と子ども達の交流が盛んな暮らし

暮らし XXX C

イメージ | 想像して描いてみる。  
小野さんの顔を例え。

タイトル **外国人と子ども達の交流が盛んな暮らし**

解説 | 外国人と子どもとの交流を通して生活の中で価値感を高めるから、多様性を育てる。

具体的な暮らしの取組 | 何人でもできることか  
取 規 人

例 | 神社のお茶会への参加、ハラル等、多様な食事への対応